

小中連携通信

# 「9年ひとつなぎ」

ひとつにつながる ひとつがながる



令和4年2月

今年も、新型コロナウイルスが、私たちが「つながる」ことを阻害する1年でした。私たちの先達は、数限りない脅威にさらされながら、勇気と知恵でそれを乗り越えてきました。私たちも子供たちの成長を図り、未来につなげていくため、この「小中一貫教育」に関しても、制限された中、研修の機会を持ち、「小中連携」して「小中一貫」した教育を進めるべく努力してきました。

今回は、過去2回の研修に続き、分科会ごとに各学校を会場にして活動を行いました。リモートという授業の参観や話し合いには、障害の多い環境の中でしたが、先生方の熱意が、それぞれの協議会の密度の濃い話し合いをもたらしたように思います。

昨年、止まってしまった小中の交流が、先生方も生徒も共に再開でき、制限された中でも工夫して実施できたことが最大の成果でした。松溪中学校生徒会と西田小学校・桃二小学校の代表委員会が、共同制作した動画による呼びかけは、史上初の試みでした。教員も、小学校の学習内容を中学校に効果的につなげる9年間の系統性を考えた指導計画の整備、中学校での学習の土台となる小学校で身に付けるべき資質・能力の整理、小中で共通して取り組むべき指導事項の共有などが課題となります。

来年度も、あらゆる脅威に負けず、さらなる充実を図っていきましょう。

杉並区立松溪中学校長 辻 成一郎

## 今年度第3回小中合同研修会を開催しました。

2月2日（水）に桃井第二小・西田小・松溪中の3校の教職員による第3回小中合同研修会を行いました。新型コロナウイルス感染拡大の観点から、本研修会はリモートでの開催となりました。

8つの分科会ごとに第1回の研修会で設定した「目指す児童・生徒像」とその実現に向けた「今年度の取り組み目標」をもとに協議を重ね、完成した授業を実践したり、今年度の小中合同での取り組みを振り返ったりしました。9年間の学びの系統性・連続性を3校の教職員が日頃から意識することで、「つながり」のある教育の実現が可能になると再確認しました。

1年間の結びとなった本研修会でしたが、次年度さらに一貫教育が推進できるよう3校で連携を取り続けていきたいと思えます。

### 各分科会の実施内容

- ①国語・図書 : 授業公開・協議会「言葉を見つけよう」(桃二小)
- ②算数・数学 : 授業公開・協議会「平行線と面積」(松溪中)
- ③英語・国際理解 : 授業公開・協議会「Unit7 My Best Memory」(西田小)
- ④道徳・こころづくり : 授業公開・協議会「思いやりとは…」(松溪中)
- ⑤生活指導 : 協議会「タブレットの共通ルール」
- ⑥特別支援教育 : 授業公開・協議会「具体的な支援方法について」(西田小)
- ⑦体力向上 : 授業公開・協議会「多様な動きをつくる運動遊び」(桃二小)
- ⑧ICT教育 : 協議会「9年間のICT活用の系統性」



## 【各分科会から授業・協議会の報告】

### 国語・図書

「必要な情報を適切に調べ、語彙を広げる」を目標とした授業実践を行った。現在小中で行っている作品交流(書き初め・読書郵便・紹介カード)は次年度も継続する。

### 算数・数学

「平行線と面積」の授業を通して、学びの連続性を改めて感じた。小学校で学んだことが中学校でも活用されるため、児童にそのように伝えてから授業を行うと意欲が高まる。中学校でも復習から始めるようにしている。

### 英語・国際理解

児童は楽しそうに知識を得ている。アルファベットの理解、自分の考えを英語で表現することなどについて話し合った。次年度は中学3年生で行う英語スピーチを小学校でも共有し、9年間のイメージをもたせたい。

### 体力向上

小中合同のねらいとしていた「多様な動き」を授業に取り入れられた。体をどう動かせば良いのかを表現、説明する(言語化する)力をつけさせたい。また、小学校で身につけた運動経験を中学校で生かす場面を設けたい。

### 生活指導

各校でのタブレット使用ルールを確認した。共有フォルダを消してしまう事例、授業中、学習以外でのタブレット使用によるトラブルの事例などが挙げられた。また、新型コロナウイルス対策についても情報共有した。

### 特別支援教育

児童生徒の必要とする支援をくみ取ることが大切である。具体的に文章を教員で読み上げるなど苦手な部分への支援の方法を確認できた。また、必要に応じて様々な選択肢を提示できるようにしたい。

### 道徳・こころづくり

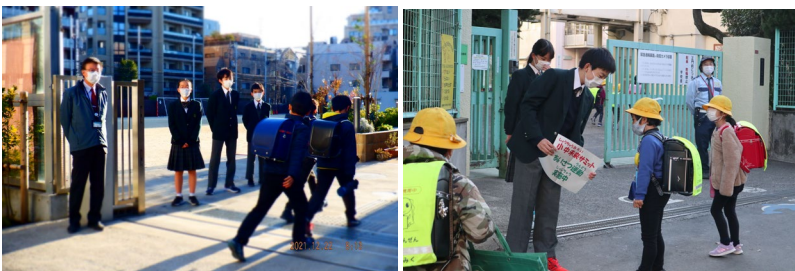
小中で項目を揃えて授業づくりができたので同じ視点から物事を見ることができた。本音を出せる授業展開にするためにどうしていくかが課題であり、今後も検討を重ねていく必要がある。

### ICT教育

各学年で使用するアプリケーションやICT機器に関するスキルや9年間の指導計画について情報共有を行った。また、タブレット使用上のルールやオンライン授業方法などについても3校で確認した。

## 【小中未来サミット】

中学校の生徒会、小学校の児童委員会が「一人一人が過ごしやすい学校」の実現に向けて、自分たちには何が出来るかを考えました。リモート会議で各校の課題や取り組みを提示した結果、①挨拶の推進 ②個性の尊重 ③いじめをしない ④他学年との交流 ⑤命を大切にする の



5つがテーマとなりました。12月には中学生が小学校へ出向き、あいさつ運動を行いました。また、上記5つのテーマの重要性を訴えた共同制作ムービーを完成させ、3校で視聴してもらっています。すでに視聴した学校ではどの児童生徒も真剣に見ていて、どうしたら一人一人が過ごしやすい学校にできるかを考えるきっかけとなったと思います。今後も小中が連携して課題解決に向けた取り組みができるとうれしく感じます。